

～東京バレエ団『ドン・キホーテの夢』公演によせて～
薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 59

バレエ『ドン・キホーテ』と ウラジーミル・ワシーリエフ

展示期間 /
2016年8月4日(木)～2016年9月2日(金)

企画・構成 /
関典子 (薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2016年8月7日、東京バレエ団による子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』(ウラジーミル・ワシーリエフ版に基づく)が開催されます。本公演に因んで、第59回常設展では、『ドン・キホーテ』を取り上げます。

スペインを舞台に繰り広げられる若い男女の恋物語、自分のことを勇敢な騎士だと思い込んでいる田舎の老貴族と付き人の冒険譚、夢の中で出会う麗しき姫やキューピッドが舞う幻想的な場面…。物語の楽しさと古典バレエ王道の様式美の両方が堪能できる『ドン・キホーテ』は、娯楽と芸術の共存した名作バレエです。

『ドン・キホーテ (Don Quixote / Don Quichotte)』

〈振付〉マリウス・プティパ
〈音楽〉レオン・ミンクス
〈原作〉ミゲル・デ・セルバンテス
〈初演〉1869年 ポリショイ劇場

「ドン・キホーテ」とは、スペインの文豪セルバンテスが17世紀初頭に発表した長編小説『才智あふれる郷土ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』の主人公の名前。ミュージカル『ラ・マンチャの男』(1965年ブロードウェイ初演)も同じ原作にもとづく名作として有名だが、見果てぬ夢を追い続ける男の人生を描くミュージカルとは対照的に、バレエ『ドン・キホーテ』は、宿屋の娘キトリと床屋のバジルを主人公にした底抜けに明るい恋物語である。

振付は、バレエ史上最大の巨匠、マリウス・プティパ。プティパといえば、『眠れる森の美女』(1890年)、『くるみ割り人形』(1892年)、『白鳥の湖』(1895年)のチャイコフスキー作曲の3大バレエで有名であるが、当時、人気を集めていた劇場付き作曲家レオン・ミンクスと共に手掛けた『ドン・キホーテ』は、生涯60あまりもの作品を生み出したプティパの中でも、そして数多のバレエ作品の中でも、最も明るく喜劇的な名作である。

ウラジーミル・ワシーリエフ (Vladimir Vasiliev)

今回、東京バレエ団が上演するのは、ロシアのダンサー・振付家、ウラジーミル・ワシーリエフ版である。

ワシーリエフは、1940年4月18日モスクワ生まれ、1958年モスクワ・バレエ学校卒業、同年ポリショイバレエ入団。最初の大役は、1959年『石の花』(音楽：プロコフィエフ、振付：グリゴローヴィチ)、その後、『せむしの仔馬』『ペトルーシュカ』『ドン・キホーテ』『くるみ割り人形』『ロミオとジュリエット』『スパルタクス』などのレパートリーで人気を博し、ポリショイを代表する男性舞踊手として、全世界の観客を圧倒した。1995～2002年、ポリショイ劇場の芸術総監督。ソ連人民芸術家、ソ連・ロシア共和国国家賞、ニジンスキー賞(パリ)、レーニン賞など受賞。1959年「ウィーン国際バレエコンクール」第一位、1964年「ヴァルナ国際バレエコンクール」第一位。

主な出展リスト

—— 『ドン・キホーテ』関連 ——

- ◆帝室ポリショイ劇場プログラム(ロシア1909年9月27日)
- ◆バレエ台本(ロシア1980年頃)
- ◆写真 第1幕・第4幕 Fischer, K 撮影(ロシア1905年頃)
- ◆写真 ヴィクトリナ・クリガー(ロシア1916年)
- ◆写真 薄井憲二(日本1950年代)
- ◆署名入りキャビネカード マリウス・プティパ(ロシア1896年)
- ◆署名入り葉書 マイヤ・プリセツカヤ(ロシア1970年)
- ◆署名入り葉書 アレクサンドラ・バラショワ(ロシア1910年頃)
- ◆葉書 オリガ・プレオブラジェンスカヤ(ロシア1902年頃)
- ◆楽譜 レオン(本名ルドヴィグ)・ミンクス(アメリカ1979年)

—— ウラジーミル・ワシーリエフ関連 ——

- ◆写真 自身の肖像画と共に(ロシア1980～90年代)
- ◆ポストカード『ドン・キホーテ』(ロシア1980～90年代)
- ◆メダル 生誕60周年記念(ロシア2000年4月18日)



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22
tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用